

## 井持浦教会

江戸時代に大村藩から移住した潜伏キリシタンを、五島藩が塩造りの竈場で働かせたという地区に立つ教会堂です。1899年、信徒が集めた島内の石を使って日本で最初のルルド(マリア像を納めた清水が湧き出る洞窟)が造られました。



## 大瀬崎灯台

西海国立公園の特別地域に指定されている大瀬崎断崖の上に建つ白亜の灯台で、背後には東シナ海の大パノラマが広がる県内有数の景勝地です。1879年に初点灯した歴史ある灯台で「日本の灯台50選」の一つです。



## 荒川温泉

玉之浦湾に面した荒川漁港近くにあり、1913年に発見されて以来、地元で親しまれている天然温泉です。共同浴場やバス停と待合室を兼ねた足湯(無料)があります。



## 大宝寺

創建は701年と伝えられ、806年に空海が滞在したことから「西の高野山」と呼ばれています。室町時代の涅槃図、国内最古の大般若経、県文化財の凡鐘、日本三大秘仏の聖観音像、伝説の彫刻職人・左甚五郎作と伝えられる猿の彫刻などがあります。



## 頓泊海水浴場

三井楽町の高浜海水浴場と並び、白い砂浜として名高く、どこまでも続く遠浅の海は天然のプールようで、子ども連れに好評の海水浴場です。



## 古民家 松ノ下

玉之浦町活性化協議会が運営するまちづくりの拠点施設。貸会場(有料)として利用できる広間もあり、革細工教室やケーキ教室のほか、毎月20日は地域の高齢者を対象に高齢者サロンを開催しています。

# つたえるけん 五島市

大瀬崎断崖をはじめ、多様な自然が魅力の玉之浦町。20年後も安心して暮らせるまちを目指して独自のまちづくりが進んでいます。



## 今日のつたえるひと 門原淳一さん

五島市玉之浦町出身。49歳。長崎大学を卒業後リターン。父が経営する特別養護老人ホーム「ゆうゆうの里(現在たまなゆうゆう)」に就職し、2014年に施設長に就任。玉之浦町のまちおこしに取り組み、特に移住者の受け入れサポートに力を入れている。

## たまんな(玉之浦)を、 なんとかせんばいかん

アウトドアが好きで日本各地を旅し、さまざまな場所を見てきました。玉之浦のようにきれいな砂浜や入り江、断崖が一面で見られるところは意外とありません。ただ、福江島の西の端に位置する玉之浦町の人口減少率と高齢化率は、五島市の中で最も高いというのが現状です。

6年前、老人介護施設の経営を父から引き継いだ際、このまま人口が減り続けると、比例して利用者も減少し、将来、施設の経営ができなくなるかもしれない。そして50名ほどの職員は町外に出て行くかもしれないと不安を感じました。そこで「20年後も安心して暮らせる玉之浦」を目標に掲げ、職員と共にまちづくりに取り組みむこととし、地域イベントやアートプロジェクトなどを実施しました。

また、人口減少を軽減するため、全国から移住者を受け入れようとインターネットなどで情報発信を行っています。特に若い世代をターゲットとし、豊かな自然環境に加え、働きやすい職場があること、子育てサポートも充実していることなどを宣伝してきた結果、日本人とネパール人の夫婦と子ども5人の7人家族から移住者を受け入れようというインターネットなどで情報発信を行っています。特に若い世代をターゲットとし、豊かな自然環境に加え、働きやすい職場があること、子育てサポートも充実していることなどを宣伝してきた結果、日本人とネパール人の夫婦と子ども5人の7人家族

## 五島市玉之浦町のお土産

### 五島列島 鯛茶漬

その日の朝に水揚げされたマダイを加工し、新鮮なうまみを閉じ込めています。お茶漬にした時にタイの歯応えを楽しめる絶妙な厚さと甘口のだしが好評です。  
問合せ:NEWパンドラ ☎0959-87-2566

### 表紙のはなし『大瀬崎灯台』

福江港から大瀬崎灯台展望所までは車で約1時間、さらに灯台までは徒歩で片道20~30分。大海原に面した高さ100m以上の断崖絶壁からの眺めは素晴らしく、映画「悪人」のロケ地にもなりました。



## 五島で満天の星を見よう!!

### 鬼岳天文台

九州でも有数の口径60cmのニュートン式反射望遠鏡で、解説員による説明を聞きながら楽しく天体観測ができます。星座のビデオ放映なども行っています。



場 所:五島市上大津町2873-1  
予 約:☎0959-74-5469(鬼岳四季の里)  
開館時間:18時~22時(入館は21時まで)  
観望料:大人310円、高校生230円、  
小・中学生160円 ※要予約  
定休日:年末年始(12月29日~1月3日)

## 鬼が砂をまきながら豊作・豊漁を祈願

### 大宝の砂打ち

(国選択無形民俗文化財)

言代主社に伝わる秋祭り。初日は五島神楽が奉奏され、翌日はアカオニや神主、獅子頭、砂鬼などの一行が御神幸行列を組んで村を回り、豊作と豊漁を祈願します。サンドーラ(わらで編んだ浅蓋)を被った砂鬼が見物客や家々をめぐって砂を打ちまき、逃げ回る見物人、子どもたちで賑わいます。

日 程:11月7日(土) 18:30~夜神楽  
8日(日) 9時~村回り  
会 場:五島市玉之浦町大宝地区一帯  
問合せ:五島市観光協会 ☎0959-72-2963  
※都合により変更になる場合があります

族を皮切りに、すでに14人ほどの移住者をサポートしています。移住者はバイタリテイのある方が多く、こちらも刺激を受けます。また、元気な子どもたちの声が響くようになったことで地域にも活気が出てきました。

毎年大晦日に大瀬崎灯台展望所で夕日を見るイベントを開催していますが、2年前からイベントスタッフに利益を還元できるようにしました。夏祭りなどの他のイベントについても、まちづくりの活動に誰もが楽しくやりがいを持って関われるようにしたいです。

また、玉之浦町には大瀬崎灯台や井持浦教会など五島市を代表する観光地があります。今後は玉之浦独自の土産品を作り、販売するなどしてまちづくりに生かしたいと考えています。